

⑱道の駅瑞穂再整備事業

受賞機関 島根県^{おおなんちょう} 邑南町
島根県**キーワード** 邑南町内12地区とつなぐ道の駅、
複合拠点としての道の駅瑞穂再整備事業**全建賞審査委員会の評価ポイント**

地中熱を利用した融雪設備を駐車場に導入し、冬期の除雪頻度を低減するとともに、夏期には建物空調にも活用することで、脱炭素化及び省エネルギー化に寄与するとともに、石州瓦の色味を再現した屋根材の採用や棚田の景観になじむ芝生広場の整備等により、地域の特徴を反映した良好な景観を形成している点が評価された。

1. はじめに

「道の駅瑞穂」は、広島県広島市中心部から中国山地を縦断し、日本海側の島根県江津市に至る重要な幹線道路である国道261号に接し、沿線における島根の玄関口として、多くの道路利用者の休憩場所として親しまれていた。平成5年の登録から27年が経過し、駐車場の不足や施設利用上の安全面等、様々な課題があった。これらの課題を解決し、周辺地域により大きな経済波及効果をもたらす施設として、令和2年度から農業振興と地域づくりの複合拠点となる道の駅の再整備プロジェクトを進めてきた。島根県と邑南町の一体型道の駅として整備を進め、新たに「道の駅邑南の里」に変更し、令和7年8月にグランドオープンした。



上空から周辺景観に調和する「道の駅邑南の里」 手前は国道261号

2. 事業の概要

「道の駅邑南の里」は、地域の特産品の販売、情報発信機能や交流スペースを充実させることで、来場者が多様な方法で自由に滞在できる拠点となるよう整備を行った。

また、道路利用者の利便性を高める休憩施設として、再生可能エネルギーである地中熱を活用した建物空調設備及び駐車場融雪設備を整備し、地域の脱炭素化及び省エネルギー化等を目的として事業を推進した。

さらに、地域の景観を大切にしたいという思いから、

赤い石州瓦の家並みと風景が調和するようにムラのある石州瓦風の配色によって屋根を葺き、建物西側には芝生広場を計画し、背後に構える山並みの谷間に広がる棚田と連続したデザインとすることで、地域の景観に調和する施設として整備した。

3. 事業の成果

年間を通じて温度が安定している地中熱を活用した融雪設備を導入することで、再生可能エネルギー利用による環境負荷の低減を図ることができた。豪雪地帯である邑南町では、冬季間においても安定した道路交通の確保と道路利用者の安全・安心を図ることが求められるが、融雪設備がその対策となったことに加え、建物空調の一部にも地中熱エネルギーを利用したことで、夏期には産直市に並ぶ野菜等の鮮度維持にも効果を発揮するなど、活用の幅を広げることができた。



令和7年12月26日早朝 降雪時の融雪状況

4. おわりに

令和7年8月のグランドオープンから令和8年5月末までの来場者は、対前年比130%超の約22万人に上った。これまで多くの方々にご利用いただいており、課題であった情報発信機能の強化によって国道261号沿線にある施設への人流も生まれている。産直市の出荷者の販路拡大や出品品目・出店者の増加にもつながっており、子育て支援施設の充実についても情報発信することで、道路利用者にとどまらず、幅広い層に利用される施設となることが期待される。

賛助会員 今井産業(株)